

1. 進学をめざす諸君へ

(1) どの学部・学科を選ぶか

志望を決定するにあたっては、「どこの学校・大学」という「名前」だけにとらわれた決定は避けるべきです。「自分は何を学びたいのか」「何が自分に一番適しているのか」「将来どのような仕事をして生きていくのか」それらこそが重要であり、まず「どの学部・学科」が自分の求めるものなのか、自分自身の頭の中でじっくり考えることが大切です。その上で情報を集めれば、候補となる学校・大学がいくつか浮かび上がってくるはずです。

志望校の決定に際しては、家族の方や先生とよく相談するのはもちろん、時には身近な先輩からも情報を集めてください。と同時に、オープンキャンパスなどの機会を利用し直接大学などに出向き、自分の目で確かめる必要があります。直接大学の先生と話をしてみてください。また、模擬試験は定期的に受験し、自分の弱点とする分野を把握し、それを克服するにはどう勉強すればよいのかを考えてください。全国的なレベルでの自己の実力を把握することも大切です。模試の成績のみで志望校を決定する必要はありませんが、模試の成績向上を励みとして受験勉強を粘り強く継続すれば、希望進路が実現します。

(2) どのように学習するか

人の数だけ勉強法は存在します。また、同じ人でも、各教科によって効率のよい勉強法は異なります。更に時間帯でも、朝が得意な人もいれば、朝はどちらかと言えば不得意という人などさまざまです。進路実現のためには、自分の特性を知り、自分の特性を活かす勉強法を早く発見することです。そして、それらをうまく組み合わせて、一日や年間の学習プランをたてることです。

計画を実行してみて、時間的に無理がある場合や、体力的に続かないと判断した場合には、少しゆとりのある比較的短期のプランに切り替えてみるような修正も必要です。逆に余裕があると感じたなら、勉強量をアップすることが大切です。

長い受験勉強の中では、意志の強い人でも、自信喪失やスランプにぶつかる時が何度かあります。そのような時は、スポーツや趣味で気分転換をはかるなど、自分流のスランプ脱出法を見つけてゆくのも入試を乗り切るポイントと言えるでしょう。

(3) 学校の授業と求められる学力

今、求められている学力とは『1. 知識・技能、2. 思考力・判断力・表現力、3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度』です。学校の授業の中で、新しい知識や技能を身につけ、それを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力をつけることを目指してください。そして、主体的に学び、多様な仲間たちと協力して学習に取り組んで行きましょう。